【請求年月日】
請求日は受給権発生日（65歳の誕生日の前日等）以後となります。

【基礎年金番号】
基礎年金番号通知書により確認し正確に記入してください。

【電話番号】・【携帯電話番号等】
自宅の電話番号を記入してください。また、仕事等で日中に連絡の取りにくい場合、入院中や施設入所中の場合には、「携帯電話番号等」欄に連絡の取れる番号を記入してください。

【年金受取金融機関】
老齢厚生年金と同一の金融機関に送金を受ける場合は、✔のみしてください（金融機関の記入は不要です。）。
老齢厚生年金と異なる金融機関に送金を希望する場合のみ以下の点に注意して記入してください。
①銀行等の口座を記入してください。口座名義が請求者氏名と異なるときは年金の振込ができませんので、請求者ご本人名義の口座を記入してください。
②口座番号は右詰めで記入してください。
③年金受取期間の確認印を銀行等から受けるか、通帳の写しを添付してください。

【退職年月日等】
退職した事由に該当するものを〇で囲んでください。
退職した年月日も記入してください。

【退職年金の繰上げ請求等】
退職年金の繰上げ請求の有無について、記入してください。
繰上げ請求を希望される場合は、繰上げ請求年月日も記入してください。

【有期退職年金に係る申出】
有期退職年金の支給期間の短縮又は一時金で受け取ることを希望する場合は、該当するものを〇で囲んでください。
なお、申出欄に記載がない場合は、「20年」になります。
そのほか、一時金を選択する場合は退職所得となりますので「退職所得の受給に関する申告書・退職所得申告書」及び当年中に退職手当等の支払を受けている場合はその退職手当等の源泉徴収票（写）を合わせてご提出ください。
申告書をご提出いただかなかった場合は、所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額は20.42%となります。
住民税については、お住まいの市区町村にてご自身で納税が必要となります。

退職等年金給付用

退職年金決定請求書

※太線の枠内に必要事項を記入してください。　欄には記入しないでください。※請求者自ら署名する場合には、押印不要です。

年金証書記号番号 8596 - -　　給料記録番号【214】 8596 - -

下記のとおり請求します。

東京都職員共済組合　理事長　様

平成 XX 年 5 月 20 日

フリガナ【201】	キョウサイ　タロウ		
氏　名【251】	共済　太郎　㊞		
性別【202】	男・女	生年月日【203】	昭和・平成 XX 年 5 月 3 日
基礎年金番号【261】	1 2 3 4 - 5 6 7 8 9 0	住民票コード【285】	1 1 2 2 3 3 4 4 5 5 6
フリガナ【209】	トウキョウト　マルマルク　バツバツチョウ2バンチ3		
住　所【255】	〒 123 - 4567 東京 都道府県　〇〇 市・区郡　XX町2番地3		
電話番号【210】	（ 03 ） 1234 - 5678	携帯電話番号等【220】	（ 090 ） 1234 - 5678

【212】老齢厚生年金と年金受取金融機関が同じ場合は、右欄に✔をしてください。　✔

異なる年金受取機関を希望する場合のみ、下記に年金受取金融機関を記入してください。

年金受取金融機関

金融機関・郵便局のいずれか一方に記入し、年金受取機関から確認印を受けてください。

	金融機関名	支店名	口座番号（右詰）
金融機関	銀行 金庫 信組 農協 信連 信漁連 漁連	本店（所） 支店（所） 出張所	
金融機関コード		店舗コード	
郵便局	ゆうちょ銀行（預金種目：普通預金）	全銀システムによる振り込みサービスを利用する際の受取口座番号（「総合口座通帳」に限る）	口座番号（右詰）
金融機関コード	9 9 0 0	店番	8

受取金融機関の確認印

（金融機関の方へのお願い）左記コードの記入をお願いします。

年金受取金融機関の確認印を受けない場合は通帳の写しを添付してください。

受給中の年金【441】（退職等年金給付含む。）	公的年金制度名	年金種別	年金証書記号番号	受給権発生年月日	選択
停止または請求中の年金も記入してください。	厚生年金	老齢厚生	1234-567890-1130	平成 XX 年 5 月 2 日	

退職年月日等【502】	退職事由	退職年月日	受発事由	受給権発生年月日【501】
	定年・普通・勧奨・その他	平成4 XX 年 0 3 月 3 1 日		平成4 年 月 日

退職年金の繰上げ請求等	繰上げ	繰上げ請求年月日	過去の有期一時金又は整理退職一時金の受給の有無	禁錮刑以上の処罰の有無
	有・無	平成 年 月 日	有・無	有・無

有期退職年金に係る申出【951】			
次のア～ウのうち、希望される受給方法を必ず〇で囲んでください。	ア　２０年	2 / 240月	※受給方法の申出は、退職年金の給付事由発生日から６月以内である場合に限ります。 ※申出欄に記載がない場合又は給付事由発生から６月を超えている場合は20年になります。
	イ　１０年※	1 / 120月	
	ウ　一時金※		

退職時の所属機関の名称	〇〇局　〇〇部　〇〇課

共済組合受付印

H28.8-01-V1.1

【氏名】
①住民票記載のとおりに記入してください。また、フリガナも記入してください。
②請求書自ら署名する場合には、押印不要です。

【性別】【生年月日】
①該当する性別を〇で囲んでください。
②生年月日を記入してください。

【住民票コード】
住民票コードを記入することにより、生年月日に関する書類の添付が不要になる場合があります。

【住所】
住民票記載のとおりに記入してください。また、フリガナも記入してください。

【受給中の年金】
請求者が受給権を有する年金（退職等年金給付及び停止中の年金を含む）及び請求中の年金をすべて記入してください。
①「公的年金制度名」には厚生年金等の年金制度名を記入してください。
②「年金種別」には、老齢・退職給付、障害給付、遺族給付の年金の名称を記入してください。
③「年金証書記号番号」には現在受給権を有する年金の年金証書記号番号を記入してください。また、請求中である場合は、「（請求中）」と記入してください。
④「受給権発生年月日」には年金証書等で確認のうえ、年金の権利が発生した年月日を記入してください。

【禁錮刑以上の処罰の有無】
禁錮刑以上の処罰の有無について記入してください。

【過去の有期一時金又は整理退職一時金の受給の有無】
過去の有期一時金又は整理退職一時金の支給を受けたことがある場合は、「有」を〇で囲んでください。

【退職時の所属機関の名称】
退職時の所属機関の名称を記入してください。